

2 愛防第 16 号
令和 2 年 5 月 13 日

各関係機関・団体長 様

愛媛県病害虫防除所長

発生予察情報の送付について

病害虫発生予察注意報（第 1 号）を下記のとおり発表したので送付いたします。

令和 2 年度 病害虫発生予察注意報（第 1 号）

令和 2 年 5 月 13 日
愛 媛 県

病害虫名 果樹カメムシ類
(チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ・クサギカメムシ)
対象作物 うめ、もも、なし、キウイフルーツ、すもも、かき、かんきつ等

- 1 発生地域 県下全域
- 2 発生程度 多
- 3 注意報発表の根拠

- (1) チャバネアオカメムシの本年の越冬量は、県下 40 か所調査の平均値が 1.43 頭／落葉 2 m²で、平年 (1.03 頭／落葉 2 m²) よりも多い (図 1)。特に、中予では平年の約 3 倍と、平年以下の東・南予よりも多い (図 2)。
- (2) 県下 5 か所の集合フェロモントラップ調査では、全地点で 5 月第 1 半旬に平年より多く誘殺され、第 2 半旬にかけて減少したものの、依然として平年を上回る地点がある (図 3)。
- (3) 令和 2 年 5 月 7 日発表の四国地方 1 か月予報では、気温は平年より高いとされ、今後、気温の上昇にともない越冬成虫 (7 月頃まで生存) の果樹園への飛来が増加してくるものと予想される。

4 防除上の注意

- (1) もも、なしでは園内への飛来に注意し、早めに袋掛けを終える。
- (2) かんきつでは開花期頃から園内への飛来が予想され、大量飛来は落花 (果) 被害を引き起こす恐れがあり、かきにおいても園地への飛来と被害には十分注意する。
- (3) 果樹園への飛来は、曇天で夜温があまり下がらない日に多くなるので注意する。
- (4) 主に山林から果樹園に飛来するため、山林に近い園地での被害が多い傾向にある。
- (5) 園地で飛来を確認した場合には、各地域の防除暦に従いただちに薬剤防除を行う。
- (6) 飛来が長期間続く場合は、継続的な防除が必要である。
- (7) 薬剤は登録内容に応じて使用する (表 1)。なお、薬剤の種類によっては周辺作物や周辺の生物 (魚・蚕・ミツバチなど)、カイガラムシ類やハダニ類の異常増殖 (リサーチ現象) に影響を及ぼすので選択には注意する。

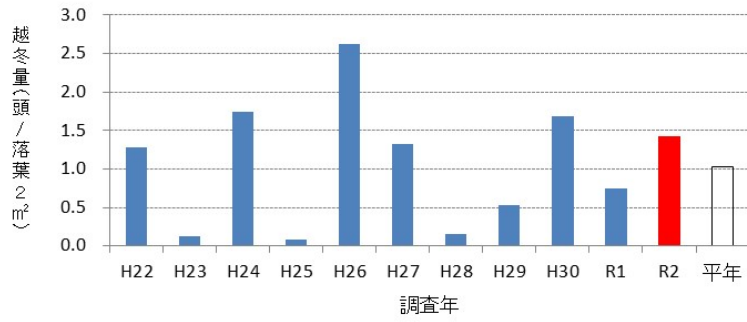


図1 チャバネアオカメムシ年次別越冬量(県下全域、2月実施)

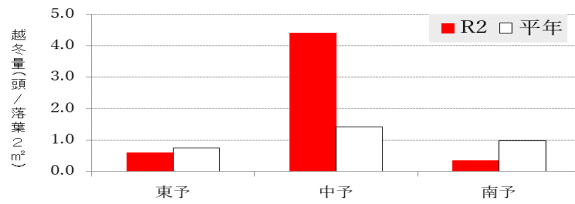


図2 チャバネアオカメムシの地域別越冬量(令和2年2月実施)

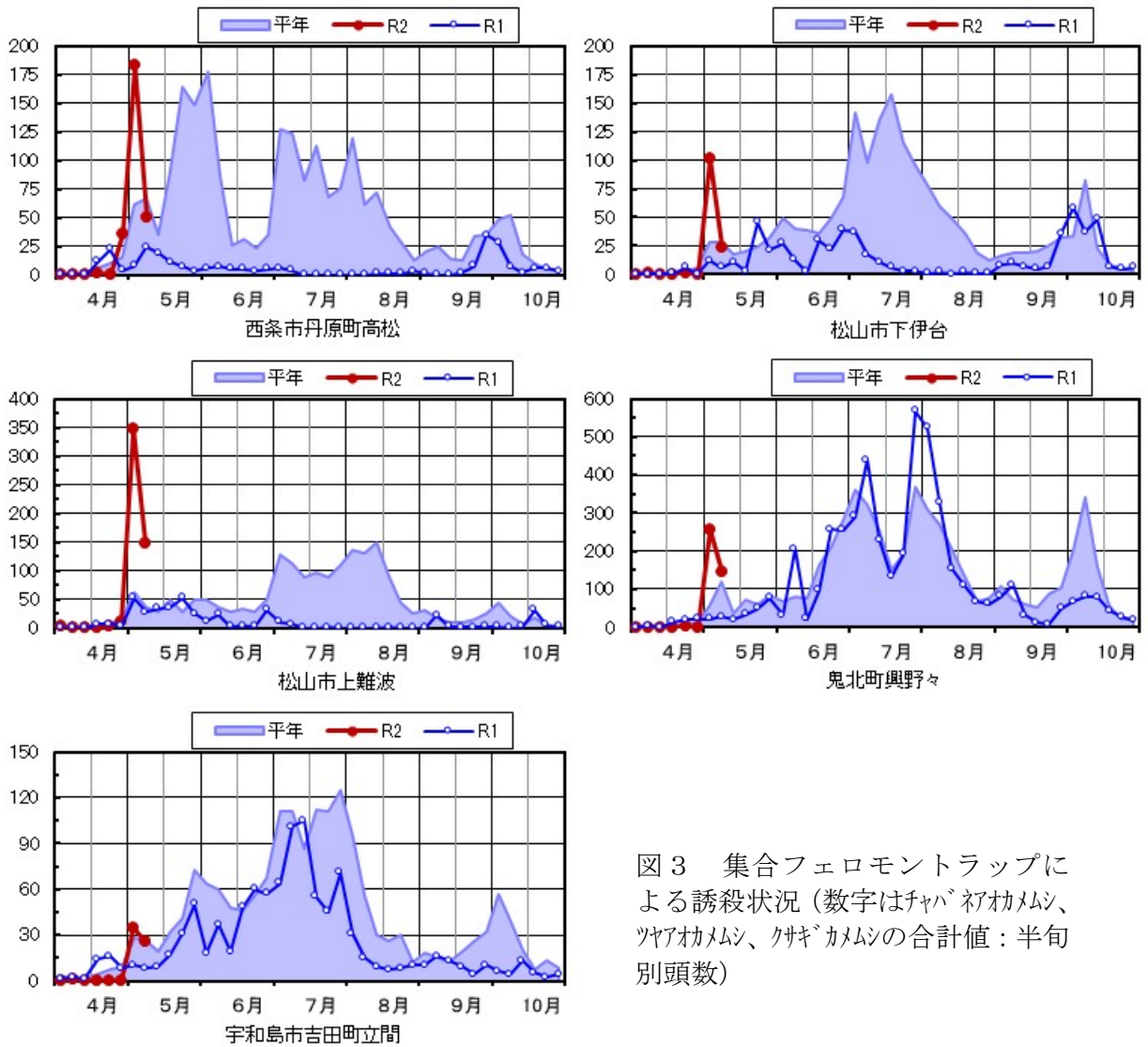


図3 集合フェロモントラップによる誘殺状況(数字はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クギアオカメムシの合計値：半旬別頭数)

表1 主な防除薬剤一覧(令和2年度愛媛県農作物病害虫等防除指針より抜粋)

作物	IRAC コード	薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数	毒性	
						人毒	水産 ^{注2)}
うめ	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	スカウトフロアブル	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△※
もも	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫3日前まで	6回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	4A	アドマイヤーフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
	3A	アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	5回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	3,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
キウイフ ルーツ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	アディオン乳剤	2,000	収穫7日前まで	5回以内	普通	×
		アグロスリン乳剤	2,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×
	1B	スミチオン水和剤40	1,000	(無袋) 収穫21日前まで (有袋) 収穫14日前まで	6回以内 6回以内	普通	△
なし	4A	アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アグロスリン水和剤	1,500	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		スカウトフロアブル	1,500	収穫前日まで	5回以内	劇物	△※
		テルスター水和剤	2,000	収穫前日まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		ロディー水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
すもも	4A	スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
	3A	アグロスリン水和剤	1,000	収穫前日まで	2回以内	劇物	×
かんきつ	4A	アドマイヤーフロアブル	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	普通	△
		スタークル/アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
	3A	モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		モスピランSL液剤	2,000	収穫14日前まで	3回以内	劇物	△
		MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		ロディー乳剤	2,000	収穫7日前まで	4回以内	劇物	×
		テルスターフロアブル	5,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
かき	1B	スミチオン水和剤40	1,000	収穫30日前まで	3回以内	普通	△
		アドマイヤー水和剤	1,000	収穫7日前まで	3回以内	劇物	△
	4A	アルバリン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	普通	△
		アクタラ顆粒水溶剤	2,000	収穫3日前まで	3回以内	普通	△
		モスピラン顆粒水溶剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	△
		ダントツ水溶剤	4,000	収穫7日前まで	3回以内	普通	△
	3A	MR. ジョーカー水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△
		アグロスリン水和剤	2,000	収穫前日まで	3回以内	劇物	×
		テルスター水和剤	2,000	収穫14日前まで	2回以内	普通	△※
		テルスターフロアブル	5,000	収穫3日前まで	2回以内	劇物	×
ロディー水和剤		1,500	収穫7日前まで	3回以内	劇物	×	
3A+1B		パーマチオン水和剤	2,000	収穫30日前まで	3回以内	劇物	×
	2B	キラップフロアブル	2,000	収穫7日前まで	2回以内	普通	○

注1) IRACコード 4A: ネオニコチノイド系、3A: 合成ピレスロイド系、1B: 有機リン系、2B: フェニルピラゾール系

注2) 水産動植物への影響(表記については令和2年度愛媛県農作物病害虫等防除指針P.8参照)



写真1 カメムシ類によるウメ果実被害（ヤニが発生）



写真2 カメムシ類によるモモ被害果



写真3 カメムシ類によるキウイフルーツ被害果